

武豊町長 初山 芳輝 様

平成23年3月30日
日本共産党武豊町議員団
団長 梶 田 稔

東日本大震災による福島第一原子力発電所大事故の教訓をいかし、 浜岡原発の運転停止をもとめることを要請する要望書

3月11日に発生した東日本大震災による福島第一原発の事故は、日本の原発史上最悪の事態となっています。

日本の原発安全対策は、国際的な基準を軽視し、今回のような過酷事故が起こることを想定した対策を全く行なっていませんでした。また、2007年の中越沖地震で被災した柏崎刈羽原発事故の教訓もいかされていません。今回の震災を通じて、従来の日本の原発政策が安全を確保するうえでふさわしいものとなっていないことがあらためて明らかになりました。

日本共産党愛知県委員会と原発問題愛知県連絡センターが、浜岡原子力発電所の場合でも、崩壊熱を除去するための機器冷却系のトラブルによって、炉心熔融などの重大事故が発生する可能性が大きいことを指摘し、東海地震の予想震源域に立地する浜岡原発は一刻も早く運転を停止することを繰り返し求めてきた経過があります。今回の福島第一原発で発生した重大事故は、危惧されていたことが不幸にも現実となりました。

武豊町から100km程度の距離にある中部電力浜岡原発は、予想される東海地震の震源域の真上にあり、今回と同じような規模の巨大地震に襲われる可能性が高いといわれています。東海・東南海地震が連動して発生した場合、福島第一原発と同様、それ以上の被害が想定され、武豊町民に多大な被害が想定されることから、浜岡原発の即時停止を中部電力（株）に求められるよう要請します。

以 上